

主催：台湾文化部影視及流行音樂產業局
企画制作：B'tween 相知音楽
協力：JOYSOUND / TSUJI MUSIC

台湾の音楽の今が体験できるイベント！ 「2018 TAIWAN BEATS」開催！



5年前から始まった台湾の音楽やカルチャーを紹介するイベント「TAIWANDERFUL」がリニューアル。新しく「2018 TAIWAN BEATS」となって今年も開催！
日本でも人気の台湾を代表するメロディーメーカーCrowd Lu (盧廣仲)、アジアのパンクシーンを牽引する Fire EX. (滅火器)、台湾のインディーシーンを代表する奇跡のサウンド Sunset Rollercoaster (落日飛車) の個性あふれる3アーティストが登場！

【イベント概要】

2018年8月20日(月)

OPEN 18:00 START 19:00

2018 TAIWAN BEATS	
18:00	OPEN
19:00	落日飛車 Sunset Rollercoaster
19:40	
20:00	滅火器 Fire EX.
20:40	
21:00	盧廣仲 Crowd Lu

会場：渋谷 WWW-X

〒150-0042

東京都渋谷区宇田川町 13-17
(ライズビル 2F)



入場無料 * 入場時にドリンク代が別途必要となります。

主催：台湾文化部影視及流行音樂產業局
企画制作：B'tween 相知音楽
協力：JOYSOUND / TSUJI MUSIC

台湾の音楽の今が体験できるイベント！

「2018 Taiwan Beats Music × Culture Event」ご取材のご

Press Conference & Lunch Party

2018年8月20日(月) 11:00-13:30

2018 TAIWAN BEATS ~ Press Conference & Lunch Party

11:30-12:00	Photo Session
12:00-12:30	Press Conference
12:30-13:30	Lunch Party

会場：品川 J-SQUARE

〒108-0075

東京都港区港南2-5-12

(JOYSOUND 品川港南口店2F)



主催：台湾文化部影視及流行音樂產業局
企画制作：B'tween 相知音楽
協力：JOYSOUND / TSUJI MUSIC

【出演者プロフィール】

Crowd Lu

1985年台南生まれ。大学1年の時、交通事故に遭ったきっかけで、入院中にギターを独学で始める。退院後の翌年、大学の音楽コンテストで優勝、現在の所属事務所にスカウトされる。3枚のシングルを経て08年にアルバムデビュー。発売初週は台湾の多くのチャートで1位を獲得。その自然体と音楽性の高さで大ブレイク。最も権威ある第20回金曲獎(ゴールデン・メロディ・アワード)では最優秀新人賞および最優秀作曲賞を受賞、その後も数々の音楽賞を総なめに。これまでに、2016年など4度にわたり台北アリーナでのソロ・コンサートを開催。日本ではサマーソニック(2015)など日本のフェスにも参加。2016年11月に初の日本でのワンマンライブ(東京、大阪)を開催、東京公演はチケット先行発売1時間で即完となる。日々の生活からふと感じたことを純粹かつシンプルに表現するその音楽スタイルは台湾内外で反響を呼んでいる。



Sunset Rollercoaster

2011年にアルバム『BOSSA NOVA』発表し、その年のSUMMER SONICに出演。

その後数年間の活動休止を経て、2016年E.P『JINJI KIKKO』を発表、アーバンかつサイケでメロウな唯一無二の落日飛車のアジアンオリエンティッドロック(AOR)と評され、世界中に衝撃を与えてから2年、ついに2018年に待望の新作『CASSA NOVA』を発表。より洗練された世界観を提示し大きな注目を集めている。

日本ではOGRE YOU ASSHOLE、ミツメ、シャムキャッツらとも共演を通じて交流をし、今大きな盛り上がりを見せるアジアインディシーンにおいて、注目を浴びている最重要バンドの一つである。



Fire EX.

南台湾高雄出身の滅火器は2000年に誕生。高校の同級生であるボーカルの楊大正(Sam)、ギターの大鄭宇辰(Orio)、ベースの陳敬元(Jc)の3人で結成され、2012年にドラムの呉迪(Ti Wu)が加わったことで現状の安定感のある最高の形となった。これまでに4枚のアルバムと多数のシングル曲を発表。滅火器は、パンクロックをベースに時代や生活を歌詞でリアルに表現し、大衆にとって身近な存在として幅広く共感を呼んでいる。晩安台湾、海上的人、島嶼天光などの曲が広く歌い継がれ、滅火器は今の時代を代表するバンドとして台湾の国民的バンドの名を獲得した。

近年、毎年なるテーマのライブハウスツアーの開催、国内外の各有名音楽フェスへの参加にとどまらず、2013年からは年に一度の大規模ソロライブを行っている。また、日本の「MONO EYES」と共催のFar East Unionでは、台湾、日本、韓国を回り、音楽の結束力を通じてアジアの文化交流の架け橋となっている。100~200人規模のライブハウスからスタートし、主力メディアによる後押しや華やかなステージ衣装もない中、まっすぐなパフォーマンスを続け、一步一步台湾全国を回って歌を届けることで、世界での活動の場を広げている。

2016年、日本でアルバムをリリースし、細美武士、磯部正文ら著名ミュージシャンと共同で作品を製作。これが話題を呼び、瞬く間に日本でも人気が高まり、日本最大の音楽フェス・サマーソニックのステージにも登場した。2015年、ひまわり学生運動のテーマ曲である「島嶼天光」で台湾のメルクマール(指標)的な音楽賞-「金曲賞 最優秀年間楽曲」を受賞し、さらに、同年9月に独自のレーベル-火気音楽を立ち上げた。翌年、アルバム『REBORN』をリリースし、2つのシリーズのアルバムツアー計15ステージを開催、チケットは即完売した。これにより、滅火器は台湾のインディーズミュージックが誰も成し遂げたことのない万人規模の野外ライブへの挑戦を決意。「2016 On Fire Day」は、台湾史上初の野球場でのライブ開催で、1万枚のチケットを売り上げ台湾インディーズミュージック史上の最高記録を打ち立てた。まさにファンとともに歴史を作り、滅火器は新たな楽章をスタートさせた。

